

## お詫びと訂正

『2012年度 社会福祉士国家試験 中央法規全国模試』の解説冊子中、以下の箇所に誤りがございました。お詫びして、訂正させていただきます。（2013年1月11日更新）

該当頁	該当箇所	誤	正	備考
57 頁	問題 54 5 の解説	5 <u>正しい。</u>	5 <u>誤り。老齢福祉年金は、大正5年4月1日以前生まれ(96歳以上)の者を対象としており、87歳のBさんは老齢福祉年金を受給できない。</u>  <u>(※本問は解答なしとする)</u>	2012年7月より、受験者及び受験申込団体に正誤表を配付。
128 頁	問題 125 1 の解説	1 <u>正しい。</u> アメリカ人ハイน์リッヒ (Heinrich, H. W.) により導き出された法則である。これによれば、事故ゼロをスローガンとして掲げどんなに安全策を講じても、事故は確率の問題として発生する可能性がある。ゆえに、 <u>軽微な事故でも</u> 対策を講じる必要性を説いている。近年、各事業所単位で実施されつつあるヒヤリ・ハット事例の検証は、この法則に依拠する。	1 <u>誤り。</u> アメリカ人ハイน์リッヒ (Heinrich, H. W.) により導き出された法則である。 <u>1件の重大な事故の背景には、29件の軽微な事故、300件のヒヤリ・ハットが伴っているとされる。</u> これによれば、事故ゼロをスローガンとして掲げどんなに安全策を講じても、事故は確率の問題として発生する可能性がある。ゆえに、 <u>事故に至らない小さなミスであっても</u> 対策を講じる必要性を説いている。近年、各事業所単位で実施されつつあるヒヤリ・ハット事例の検証は、この法則に依拠する。  <u>(※本問は解答なしとする)</u>	2013/01/11更新